

みんなで語る会報告書

- 開催日時 : 平成29年8月28日(月)(19時00分~20時30分)
- 開催場所 : 川尻ふれあい交流館
- 参加者数 : 【市民】33人【市職員】市長ほか15人【総計】49人

○ 会次第

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 市職員自己紹介
- 4 意見交換
- 5 地域代表あいさつ
- 6 閉会

○ 意見交換の内容

【市民】

国民宿舎跡地の活用の件について、具体的に教えていただきたい。

<産業振興部長>

売店を併設した3階建ての宿舎で、宿泊人数は80人くらいの提案を受けている。2019年5月を目処にオープンする提案を受けている。

<市長>

高級ホテルを経営する業者も手を挙げていた。国民宿舎跡地を活用することで、川尻地区にどのような貢献ができるかが一番大きな点だと考えている。

日本プロゴルフ選手権の開催も予定されており、開聞岳を含めてこの開聞地域をPRしていきたい。

【市民】

学校再編について、川尻小、開聞小、大成小の保護者としては、現状に満足しており、小学校を残していただきたいと考えている。

以前、保護者は現状に満足していると申し上げた。もう少し慎重に考えていただきたい。

<教育部長>

年次的に広く意見を伺っている。

また、10月初旬から11月中旬にかけて、教育委員会の素案についての住民説明会を実施する予定である。

<教育長>

これから、子どもの数は増えないだろうとの見通しが立っている中、学校の在り方について考える必要があるのではないかとということで、このような計画を立てた。

複式学級になれば、1人の先生が二つの学年を指導しなければいけないが、そのような状況が子どもたちのために本当に望ましい環境なのか、考えなくてはならない。

<市長>

教育委員会は教育の専門家として、子どもたちにとって望ましい学校の在り方について提案しているのであって、教育委員会の方向性は間違っていないと考えている。

しかし、それが出されたからといって、すぐに再編にはならない。そのためには、地域の声を拾い上げる必要がある。

【市民】

クリーンセンターが新しくなったが、ごみの持ち込みが以前より不便である。

<市民生活部長>

ごみの搬入に時間がかかってしまう件については、特に盆、年末年始に混み合うことが予想されるので、別の搬入口を使えるようにできないか、広域組合に対し申し入れをしたい。

また、産業廃棄物の持ち込みができないことから、ごみの持ち込み時にその確認をさせていただいている。その点をご理解いただきたい。

【市民】

川尻漁港外港の整備を進めてほしい。沖防波堤ができれば、いろいろな意味で市へ還元ができるはずである。

<産業振興部長>

沖防波堤の整備については、県に対し整備の申し入れをしている。

漁獲量の確保のための支援は推進していきたい。

<市長>

池田湖の放水を行えば、川尻港に少なからず影響が出る。川尻漁港の整備は非常に重要なことだと認識している。

他に意見があれば、ぜひ担当に伝えていただきたい。

【市民】

高齢者支援も重要であるが、子どもを産み育てるのは若者である。定住、雇用、子育て支援をお願いしたい。

<総務部参与>

市としては、まち・ひと・しごと創生総合戦略を掲げ、安定した雇用を基にした地域づくりを進めている。

また、地域資源を活かした形での事業も検討している。

<副市長>

指宿はオクラの産地であるから、オクラを活用した事業をということで、ヘルスケア推進協議会を立ち上げた。雇用を生み出すためには、産業をつくらなければいけない。地域資源を活用し雇用力を付けると、定住促進になり、移住Iターン、Uターンの促進にもなり、若い人が夢を持って指宿に入って来るようになってくると考えている。

<市長>

あなたが市長なら、どんなことをしてみたいか。

【市民】

国民宿舎跡地の問題が解決して、そこに雇用が生まれ、川尻に空き家バンクがあれば、そこで働く人が川尻に住むことができる。空き家バンクは、今のこのタイミングでやるべきだと思う。

<市長>

国民宿舎跡地が開業すれば、30人以上の雇用を見込んでいる。そこで、特産品や海産物を売りたい。このことについては、地域と一緒に考えていきたい。

<総務部参与>

空き家バンクについては実施していないが、地域おこし協力隊を活用して空き家の有効活用について考えている。そのモデル地区を作りたいと考えている。

【市民】

指宿の中心部に人口が集まって、さらに学校再編となると、地域から子どもたちの声が聞こえなくなってしまう。市の職員も出て行っている。指宿は、伝統を大切にしたい。

【市民】

市職員、消防職員の数が少ない。災害に対応できないのではないかと。

<総務部長>

職員数については、安全が確保できるような形でないといけないと思っている。

消防団も含めて状況をみながら判断したい。

<市長>

地域の頼りは消防団員であろうと思う。高齢化が進んでいる地域では、こういう人たちに頑張ってもらえないといけない。

【市民】

壊れかけている空き家をどうにかしてほしい。

<総務部長>

全国で危険空き家が問題となっており、県が県下統一のガイドラインを作成し、対応しようとしている。危険空き家については、危機管理課が窓口となっている。場所を確認し、対応したい。

【市民】

旧川尻公民館が長年放置されている。今後どのようにしていくのか。

<総務部長>

市内の公共施設の取り扱いについては、現在計画を作成中である。

旧川尻公民館が古い建物であることは承知している。早めに対応したい。

<市長>

私が現場を確認して、担当部署と話し合いたいと思う。

【市民】

レジャーセンターの温泉の温度が低い。

<産業振興部長>

泉源の温度が下がってきており、ボイラーを設置し、足し湯をしている。掘削をするために高

額の費用が掛かってしまうことから、今後どのようにすべきかは検討していきたいと考えている。

<市長>

温泉を利用して健康になっていただきたいというのが、我々の一番の目標である。プールや温泉の維持には高額な費用が掛かる。その分、皆さんが健康になることで、差引ゼロになればありがたいと考えている。皆さんに利用していただきたい。